

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認年月日 2018年8月30日

東京都作業部会確認年月日 2018年9月28日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（検証・運用設計）

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意に基づき、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務は、通信サービスパートナーである NTT と契約した電気通信供給契約にかかるものであり、NTT から提供される電気通信パッケージの通信品質担保のために必要な業務である。</li> <li>組織委員会は NTT と電気通信パッケージの一部であるデータネットワークの基本設計、詳細設計を契約済みであり、本業務はそれらの設計内容を実際の大会用機器を用いて、電気通信サービスとして提供するために必要である。</li> <li>以上より引き続き組織委員会が一括して執行する事が効率的、効果的である</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会における通信環境の整備については、開催都市契約運用要件において定められており、適切な通信環境整備のために設計を検証する業務は必須である。</li> <li>大会用データネットワークは競技運営に必要なシステムや様々なステークホルダの業務に関わるネットワーク環境を提供するものであり大会運営には必須である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HCC-OR TEC 03,04</li> <li>OGG TEC 3.1.7.</li> </ul>

<p>妥当なものであること</p>	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本設計及び詳細設計を実施する通信パートナーに一括して委託する事が最も効率的である。</li> <li>・ 単金については詳細設計と同等であることを確認し、外部委託先として機器パートナーを用いる事で品質およびコストを効率化している事を確認した。</li> <li>・ 検証業務の各工程の工数および単価について組織委員会として妥当であると判断できるまで協議を行い、適切な水準まで費用を削減した。</li> <li>・ 2019年2月に予定している大会用データセンタ LAN 構築に用いるデータセンタにて検証業務を行い、環境を流用する事で、大会用データセンタ LAN 構築業務にかかる工数を削減する予定である。</li> </ul>	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件は、通信サービス提供を責務とする通信パートナーに対する指定調達となる。</li> <li>・ 電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件は、平成 29 年 5 月 31 日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2018年8月30日

東京都作業部会確認年月日 2018年9月28日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス2）の調達

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意に基づき、本件については、組織委員会・国・都が分担することとなっている。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務は、通信サービスパートナーである NTT と契約した電気通信供給契約にかかるものであり、NTT から提供される電気通信パッケージの通信品質担保のために必要な業務である。</li> <li>組織委員会は NTT と電気通信パッケージの一部であるデータネットワークの基本設計、詳細設計を契約済みであり、本発注はそれらの設計内容に基づいて十分なセキュリティレベルを担保するために必要なサービスである。</li> <li>以上より引き続き組織委員会が一括して執行する事が効率的、効果的である</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会における通信環境の整備については、開催都市契約運用要件において定められており、適切な通信環境整備のために設計を検証する業務は必須である。</li> <li>大会用データネットワークは競技運営に必要なシステムや様々なステークホルダの業務に関わるネットワーク環境を提供するものであり、そのネットワークにかかるサイバーセキュリティ対策は大会運営に必須である。</li> <li>本大会は世界で最も注目を集める大会の一つであり、サイバー攻撃のターゲットとなる。そのため、このリスクに対して十分な対策を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HCC-OR TEC 03,04</li> <li>OGG TEC 3.1.7.</li> </ul>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティサービスの導入初期費について工数の精査を行い、組織委員会が妥当性であると判断した。</li> <li>基本設計時から構成、台数の見直しを継続して実施し、約6割強のコスト削減を行った。</li> <li>月額サービス費用について、組織委員会が既存で導入している機器よりも高い値引き率である事を確認した。</li> <li>大会用データネットワークのネットワークセキュリティ関連機器を同一ベンダに委託する事は管理や運用において最も効率的である。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件は、通信サービス提供を責務とする通信パートナーに対する指定調達となる。</li> <li>・ 電気通信供給契約において、組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。</li> <li>・ 基本設計に基づいた設計方針から見直しを行った事に加え、7月の別セキュリティサービス調達の際からもさらなるコスト最適化交渉を行い、過剰なコストにならないよう精査した。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件は、平成29年5月31日の合意に基づき、公費負担の対象としているものであり、適切である。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。